

南あわじ市における サークル活動等の現状と課題に関するアンケート 結果報告書

内 容	掲載 ページ
実施したアンケートについて(概要)	P2
サークル活動等に関するアンケート(60 歳以上市民向け・団体主催者向け) 集計結果からの課題と対応について	P4
60 歳以上市民向けアンケート結果について	P7
団体主催者向けアンケート結果について	P20
(参考)アンケート様式	P32

令和7年2月

南あわじ市 市民福祉部 長寿・保険課
総務企画部 市民協働課 生涯活躍推進室

実施したアンケートについて(概要)

1. アンケート実施の目的

南あわじ市では、市民の生きがいづくりと健康寿命の延伸を目的に、市民主体のサークル活動の活性化を進めています。近年、特にシニア層を中心に、より多くの社交・交流の場を求める声が寄せられており、市内のサークル活動の現状や課題を把握するため、以下のアンケートを実施しました。

本調査では、60 歳以上の市民および団体主催者を対象に意見を収集し、その結果を基に、既存のサークル活動の活性化や新たな活動の支援策を検討します。調査結果は市民や関係団体と共有し、地域における社会参加の機会拡充につなげていきます。

2. 今回実施した2種類のアンケートについて

アンケート①:

60 歳以上の市民向け サークル活動等に関するアンケート

1. 趣旨

市民の生きがいづくりや健康寿命の延伸を目的に、市民主体で運営される集いの場やサークル活動の現状を把握し、既存の活動の活性化や新たな活動の設立支援につなげるため。

2. 対象者

令和 6 年 9 月 1 日現在、60 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)。

3. アンケート期間

令和 6 年 9 月 17 日(火)～ 令和 6 年 9 月 30 日(月)

4. アンケート回収数

1,030 (回収率 51.50%)

アンケート②：

団体主催者向けサークル活動等の現状と課題に関するアンケート

1. 趣旨

市民の生きがいづくりや健康寿命の延伸を目的に、市民主体で運営される集いの場やサークル活動の現状を把握し、既存の活動の活性化や新たな活動の設立支援につなげるため。

2. 対象者

市役所及び社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会が把握する団体情報を基に抽出した 300 団体の団体主催者

3. アンケート期間

令和 6 年 9 月 17 日(火)～ 令和 6 年 9 月 30 日(月)

4. アンケート回収数

229 (回収率 76.33%)

サークル活動等に関するアンケート (60 歳以上市民向け・団体主催者向け) 集計結果からの課題と対応について

1. 60 歳以上市民向けアンケート集計結果から見えた課題

①シニアがサークル活動に興味がない

- ・市内シニアのうち、サークル活動に参加しているのは 24.4%である。参加者のうちの男女比は男性3:女性7である。
- ・サークル活動に参加していないシニアのうち、「サークル活動などに参加してみたい」と考えているのはわずか 14.2%。85%のシニアが「参加したいかどうかわからない」「参加してみたいと思わない」と答えている。

②シニアが市内のサークル活動を知らない

- ・サークル活動に参加しない理由の 51.9%が「市内にどのようなサークルがあるのかわからない」

③新規サークル団体の立ち上げ方やどのようなサポートがあるのかわからない

- ・シニアの8%が「新たなサークルを立ち上げることに興味がある」と回答している。
- ・一方で自らが主催者となって新たなサークルを立ち上げる際の課題としては 29.1%の方が「立ち上げ方、運営に関するノウハウがない」と回答。次いで課題として挙げられていたのが「運営スタッフの確保(29.0%)」「メンバーの募集(12.7%)」であった。

2. 団体主催者向けアンケート集計結果から見えた課題

①活動者の高齢化

- ・回答していただいた 229 団体のうち、33.1%にあたる 76 団体が 20 年以上活動する団体であった。
- ・会員数については、全体の 52.6%にあたる 118 団体が「増えている」「変わらない」と答えている。
- ・一方で会員の減少や高齢化、団体運営スタッフの高齢化を課題に挙げている団体もある。指導者の高齢化、運営スタッフの高齢化により運営が負担になってきて休止中の団体や新規会員を募集しないといった団体も多い。
- ・団体の抱える運営上の課題のうち7割は「高齢化による会員の減少」「運営スタッフの不足」であった。一方で課題に「資金不足」を挙げているのは1割程度であった。

3. 移動に関する課題について

① 個人アンケートから見た課題

- ・現在自分が所属するサークルに自家用車で通うシニアのうち、他者を送迎することに興味があるのは 29.7%。
- ・自家用車で他者を送迎することの課題については 57.0%のシニアが「事故時の問題」を挙げている。
- ・自らの運転を不安に思っている高齢者が多いため他者を送迎することに抵抗が大きく、家族から『他人を乗せて運転するな』と言われているシニアも居る。
- ・一方で、自家用車を運転しないシニアからは運転できるメンバーに送迎してほしいという声もある。

② 団体アンケートから見た課題

- ・団体からは「会員の移動については課題を感じていない」といった声が多く、会員の参加の交通手段についても 86%の団体が「会員は自家用車・自転車・徒歩などで、会場まで自分で通ってきている」と答えている。
- ・中には「移動が出来なくなったら会員は退会していく」と答えている団体もある。
- ・これらのことから、サークル活動については何らかの移動手段を持つ方のみが参加しており、参加手段がなくなった方は退会していつていると想定され、そのため団体は会員の移動については特に課題に感じていないことが推察される。
- ・サークル活動主催者も運転できる会員が他の会員を送迎することの課題としては「事故時の問題」を挙げる主催者が圧倒的に多い(57%)。
- ・具体的な意見としては「運転者自体が高齢なのに、他人を乗せ大きな心の負担になる、事故の時、保険の問題だけではなく、運転者の責任や過失うんぬんを周囲から言われるし、本人も傷つく。」「高齢者が送ることを、家族がいやがる」といった意見がある。

③ 個人アンケート、団体主催者アンケートに共通する送迎に関する課題

- ・運転できる会員が他の会員を送迎することについては事故時の際の心配から、市民・団体主催者の両者から否定的な意見が多く、相互送迎の実現の難しさが浮き彫りになった。

4. 課題に対する対応について

① シニアに向けた市内サークル活動の周知

- ・今回のアンケートで把握できた団体も含め、関係所管課が連携し市内シニアが通えるサークル等団体の情報を広く周知する。
- ・シニアが参加できるサークル等団体をまとめた一覧を作成。これを公開し、シニアの社会参加の場の一つとして「サークル活動」が認知されるように働きかけ、これまでサークル活動に関心のなかったシニアの参加を促す。

② 広く市民に向けた新規サークルの立ち上げに関する情報の発信

- ・既存の団体は参加者も高齢であることから、新規参加者を受け入れられる状況でないものも多い。
- ・このため、シニアが通う場を増やすためには、既存団体の活性化に加え、新たなサークル活動が立ち上がることも重要と考える。
- ・新規団体立ち上げの際の相談先、立ち上げ時に使える補助制度などを上記①のサークル活動に関する情報とともに市民に広報紙・CATV・SNS 等を用いて発信していく。

③ 新たな交通手段確保の検討

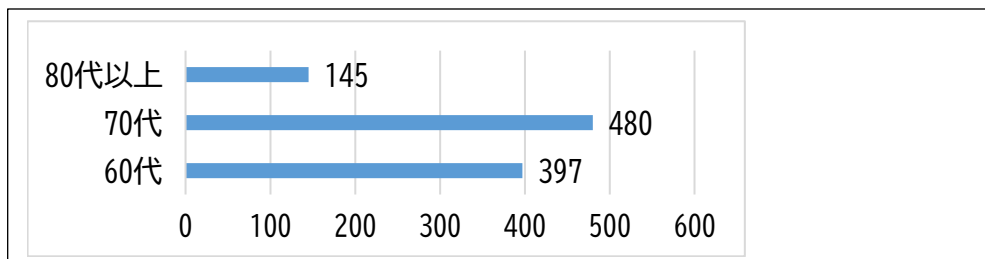
- ・今回のアンケートの結果、運転できる会員による相互送迎は安全面・心理面から、シニアにハードルが高いことが分かった。
- ・シニアの社会参加のためには会員同士の相互送迎に代わる移動手段の検討が必要である。

60歳以上の市民向け サークル活動等に関するアンケート集計結果

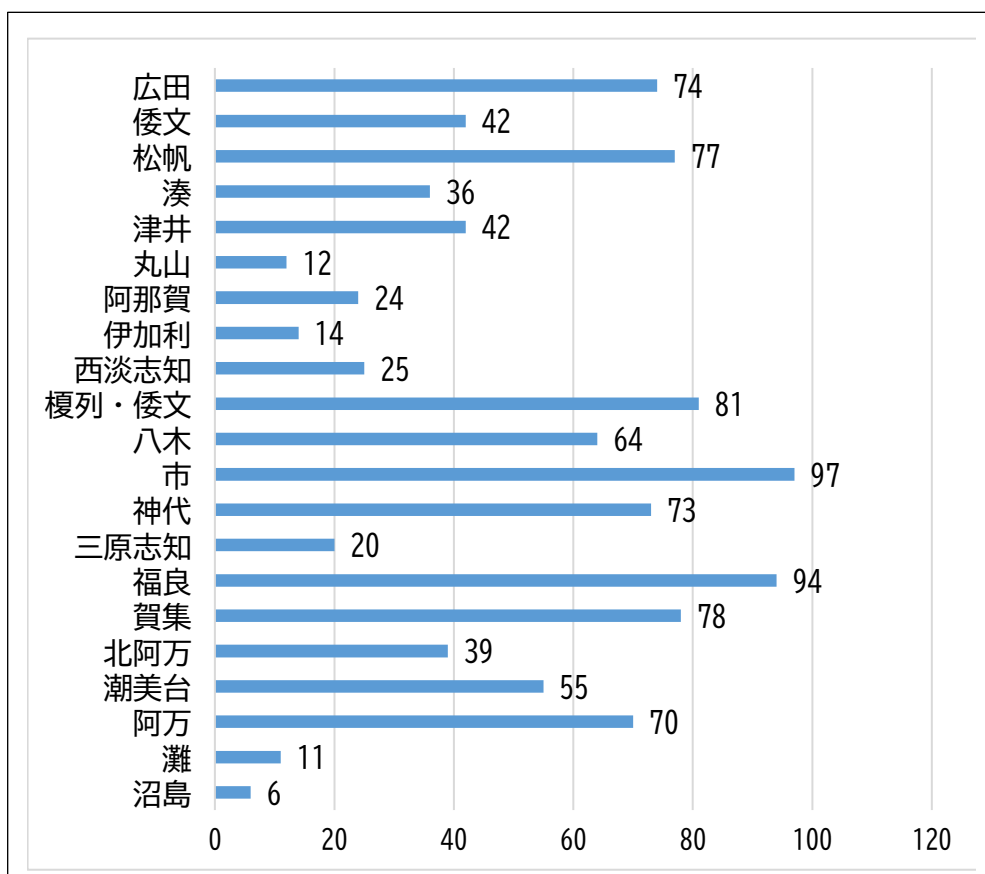
集計結果は未回答を含むため、設問ごとに総回答数が異なります。その点をご留意の上、ご覧ください。

◆ 回答者の属性について

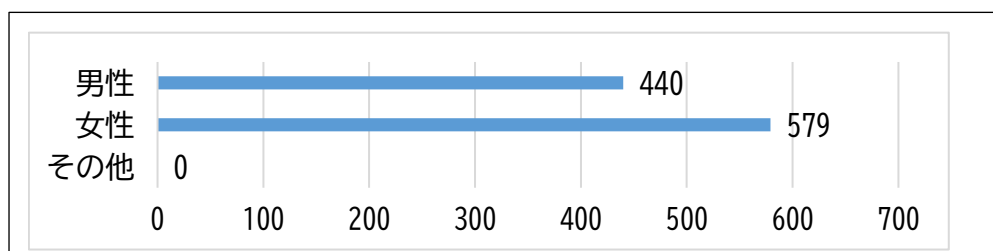
問1 回答者の年齢



問2 回答者のお住いの地区

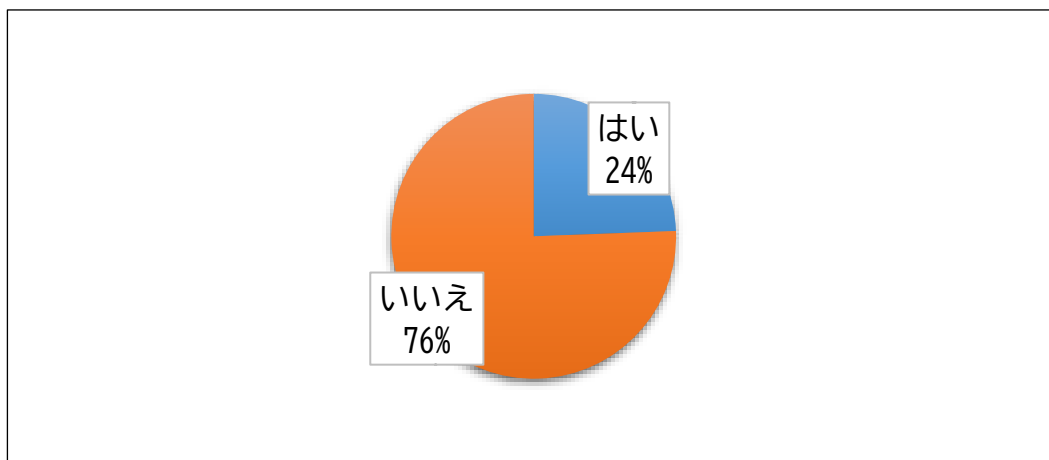


問3 回答者の性別

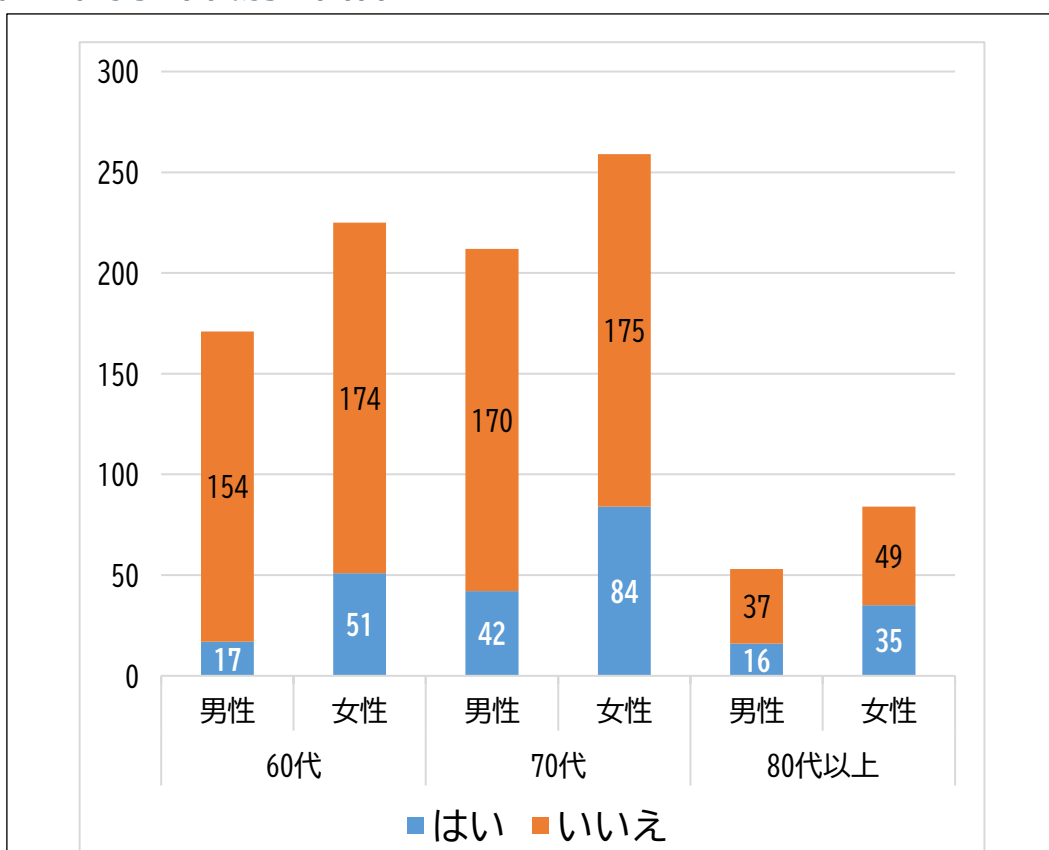


問4 集いの場やサークル等の団体※に参加の有無

※ いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロン、公民館サークル、ボランティアグループなどの自主的な活動を指します。



上記の再掲:年代別の回答

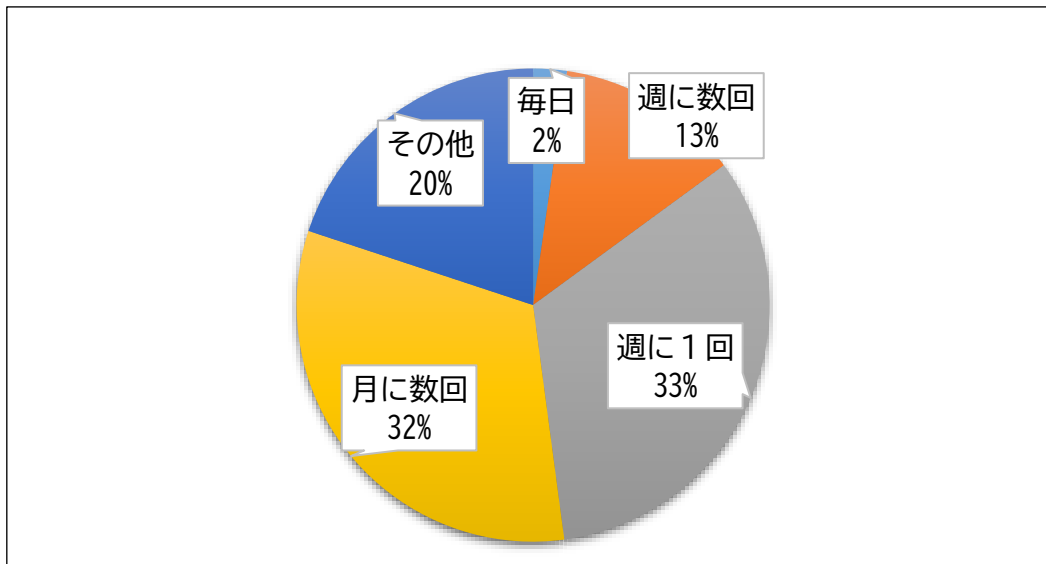


サークル等に「参加している」と回答したのは全体の 24%にとどまり、「参加していない」が 76%と多数を占めています。年代別では 60 代男性と 70 代女性の参加率がやや高いものの、全体的に未参加者の割合が圧倒的に高いことがわかります。

問5・問6 略

◆ サークル等の団体に参加している方への質問

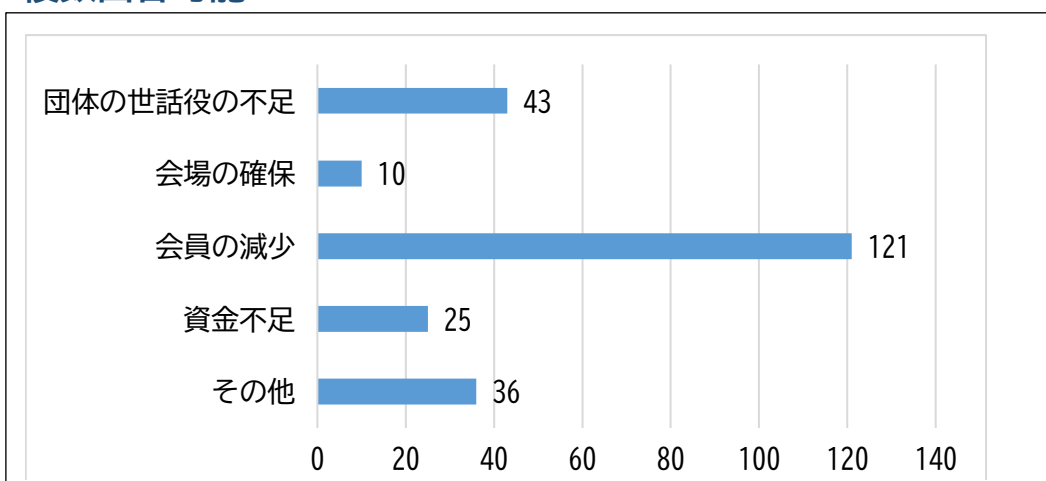
問7 活動の頻度について



活動の頻度について、「週に1回」が最も多く、全体の33%を占めています。「月に数回」は32%、「週に数回」は13%と続いています。一方で、「毎日活動している」は2%、「その他」は20%となっています。定期的な活動が主流である中、無理なく継続できる環境の整備が求められます。

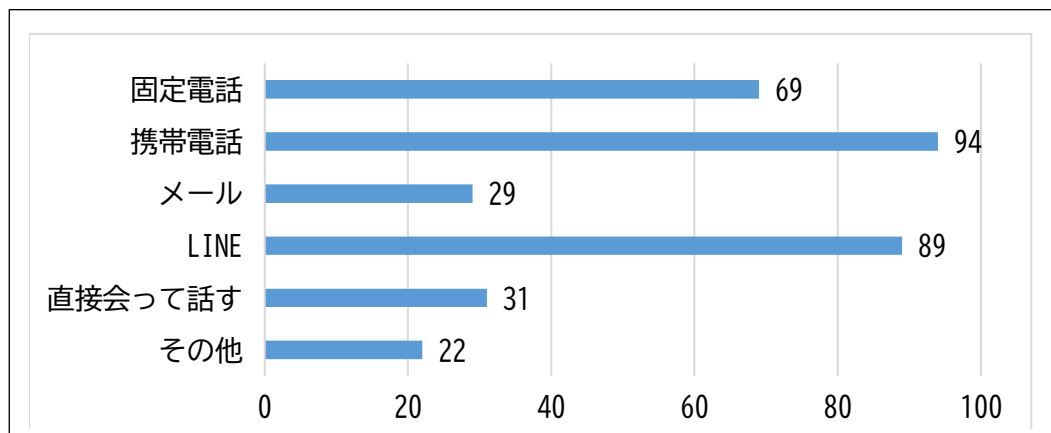
問8 参加している団体の運営について、課題に感じていること。

※ 複数回答可能



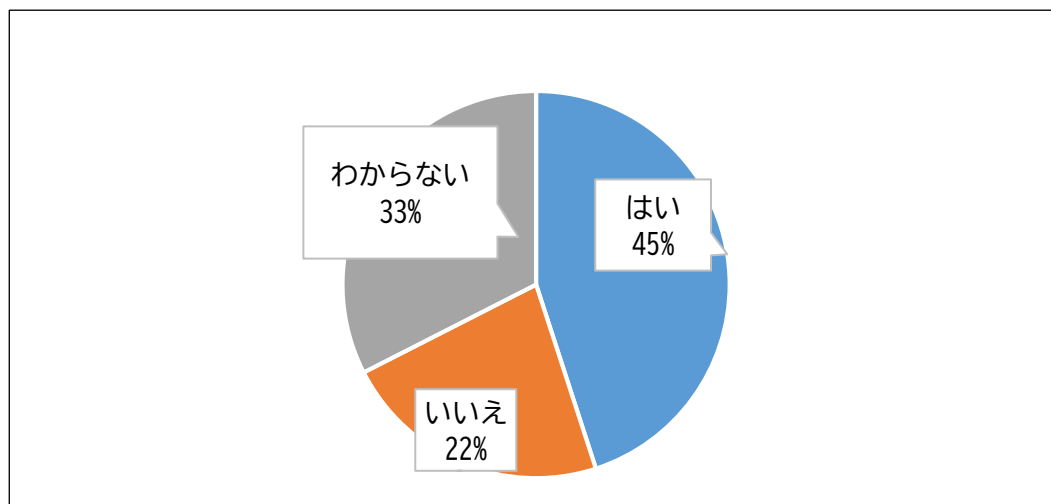
「会員の減少」が最も多く、次いで「資金不足」「世話役不足」が課題として挙げられています。新規会員の確保や運営支援が、サークル活動の継続に向けた重要な課題であることがわかります。

問9 参加している団体の主な連絡手段。



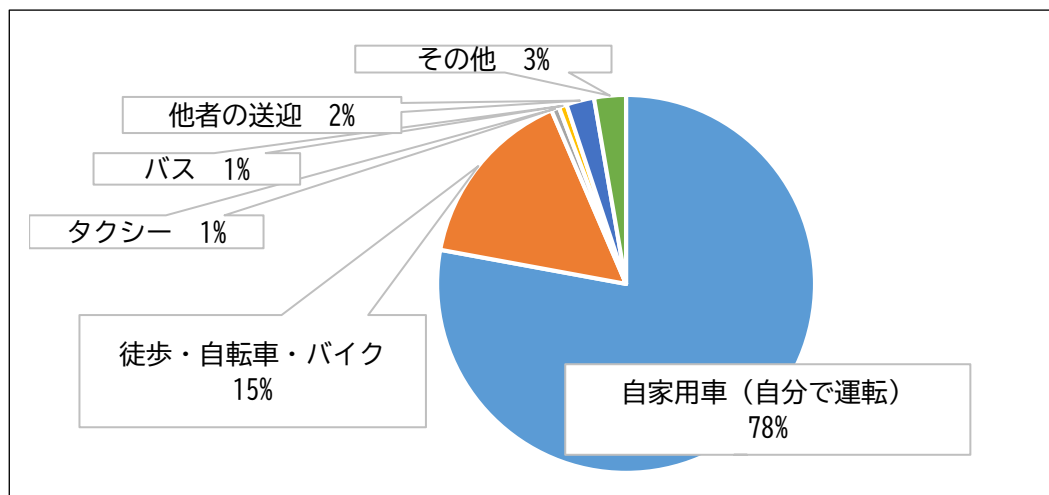
携帯電話や LINE が主な連絡手段となっており、デジタル機器の活用が進んでいることがわかります。一方で、固定電話や対面での連絡を重視する人も一定数おり、世代や環境によって連絡手段に違いがあることがうかがえます。

問10 LINE などの通信アプリを活用した連絡や情報共有の可否。

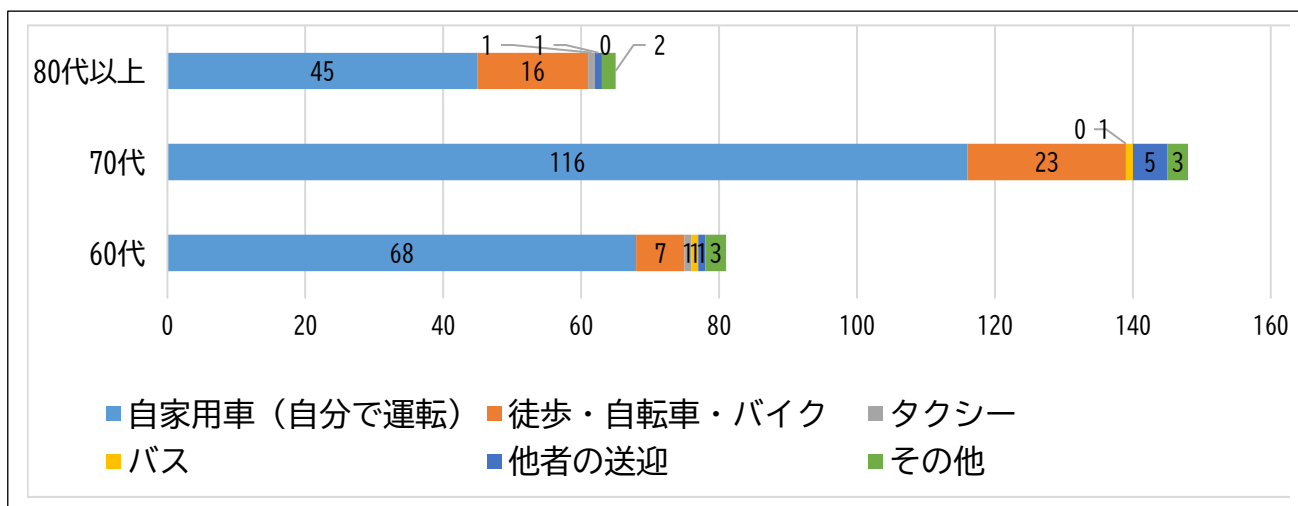


LINE などの通信アプリを活用した連絡・情報共有について、「はい」と回答したのは 45%、「いいえ」は 22%、「わからない」は 33%となりました。デジタル機器の活用に対する意識には個人差が大きく、今後は利用促進のためのサポートや、アプリを使用しない人への別の連絡手段の確保が求められます。

問11 現在の主な参加のための移動手段は何ですか？当てはまるものを1つ選んでください。

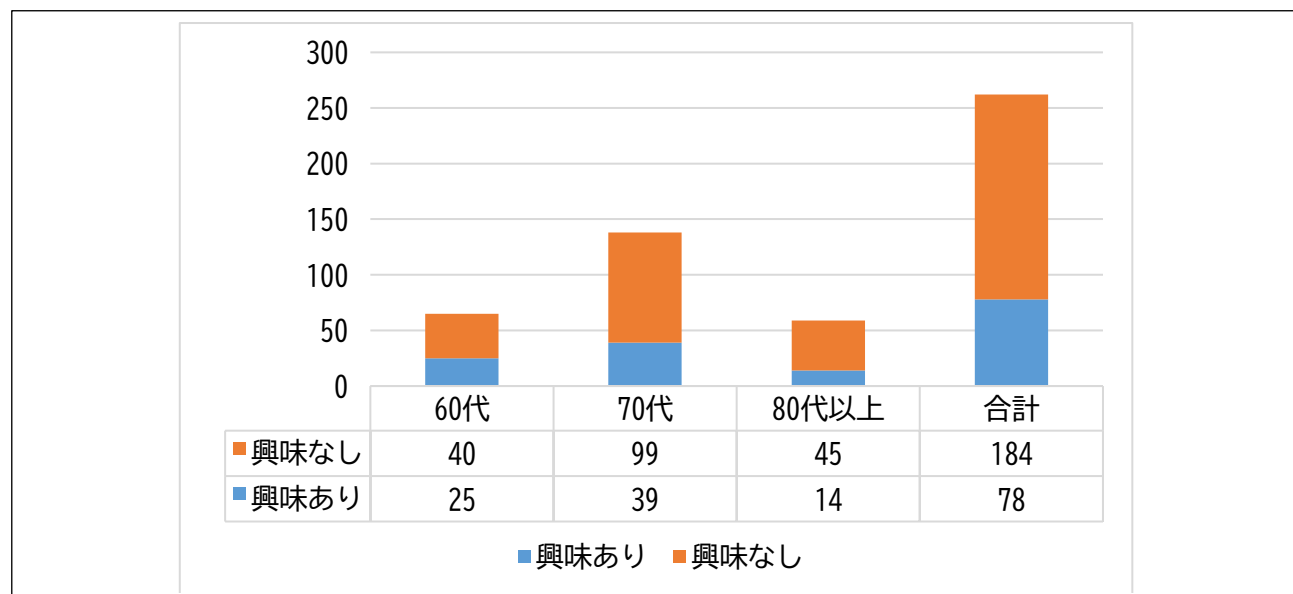


上記の再掲:年代別の回答



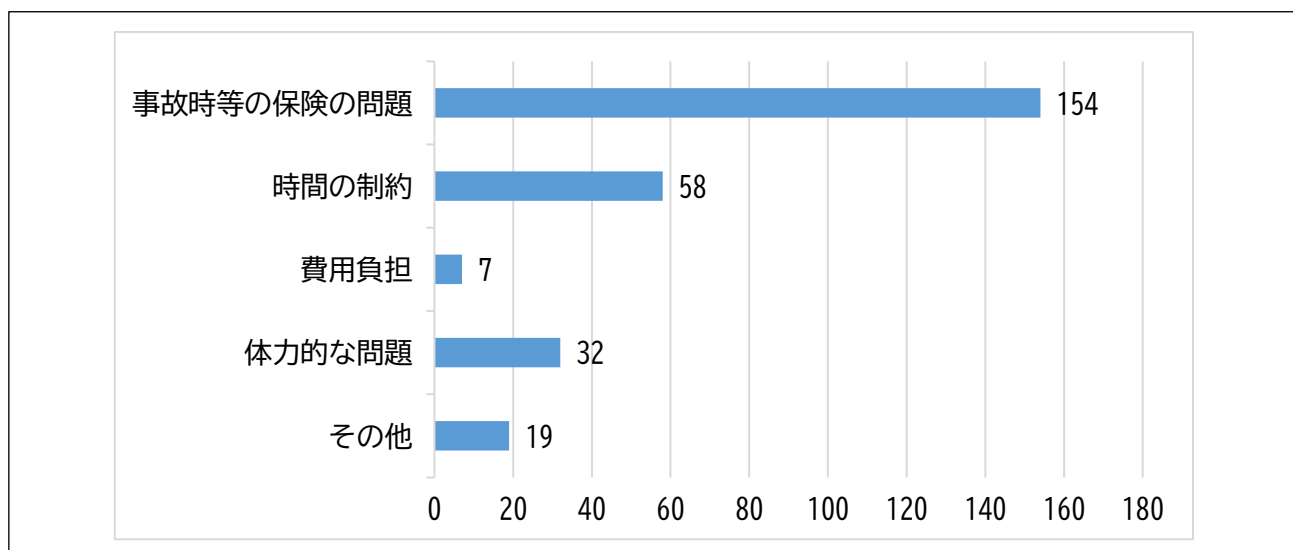
主な移動手段として、「自家用車（自分で運転）」が最も多く 78%を占めています。次いで「徒歩・自転車・バイク」16%、「その他」3%、「他者の送迎」2%、「バス」と「タクシー」は各 1%でした。高齢化が進む中、今後は自家用車以外の移動手段の確保や代替手段の充実が求められます。

問12 自家用車を運転して他のメンバーの送迎を手伝うことへの関心



自家用車での送迎に「関心がある」と回答したのは78人（29.8%）にとどまり、「関心がない」が184人（70.2%）と多数を占めました。年代別では60代が最も関心が高いものの、70代・80代以上では関心が低下しています。安全面や負担感への懸念が背景にあると考えられ、今後の移動支援策の検討が求められます。

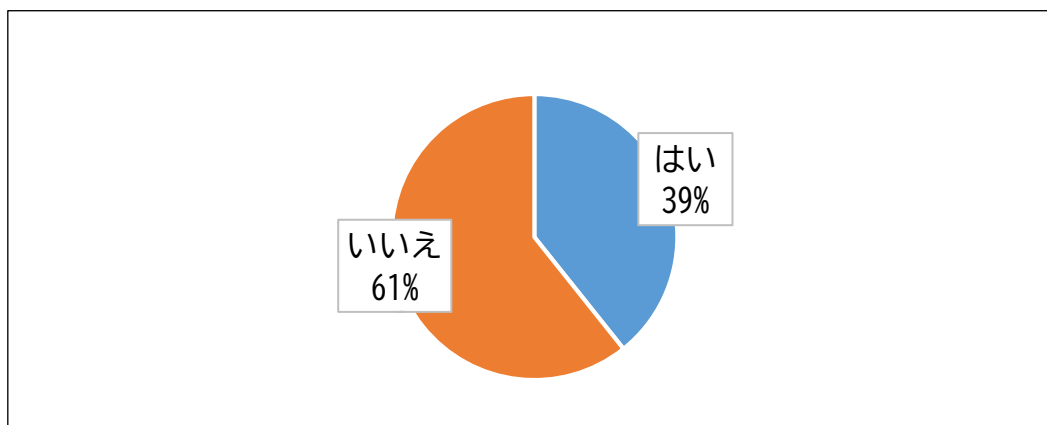
問13 他のメンバーを自家用車で送迎することの懸念点



送迎に関する最大の懸念は「事故時等の保険の問題」で154人（59.7%）が挙げています。次いで「時間の制約」が58人（22.5%）、「体力的な問題」が32人（12.4%）、「費用負担」が19人（7.4%）と続きます。安全性や運転負担への不安が大きく、送迎に頼るだけでなく、代替の移動手段の確保が課題となります。

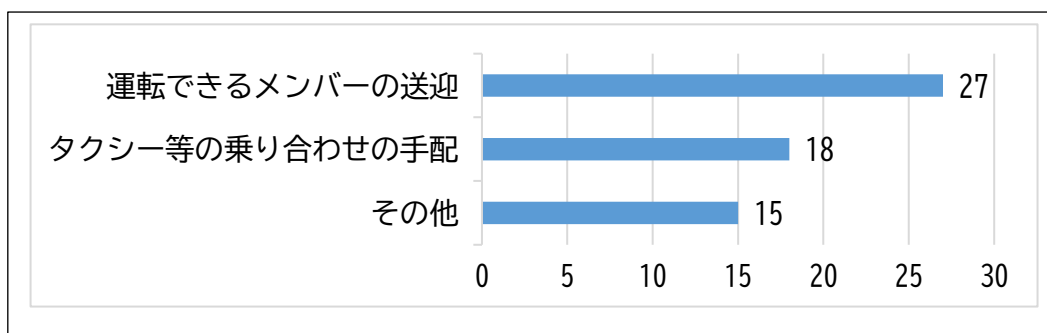
◆ 主な移動手段が「自家用車(自分で運転)」以外の方への質問

問14 団体の活動に参加する際、移動手段が問題となることはあるか



移動手段が「問題ない」と回答した人は61%に上り、参加者の多くが移動に困っていないことがわかります。これは、移動手段を確保できる人が団体活動に参加しやすいことを示唆しています。一方で、39%は移動に課題を感じており、移動手段が団体参加の障壁となっている可能性があります。

問15 あれば良いと思われる移動支援



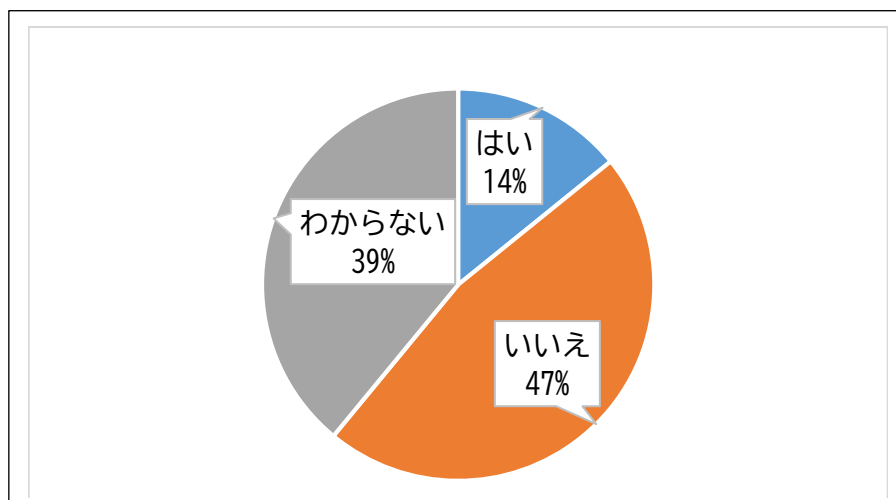
その他意見（ポイント）

- ・活動先の会場が近いため送迎が不要と感じる方がいる。
- ・バスや乗用車の手配を求める声がある。
- ・現在の交通手段では不便を感じている方が一定数いる。

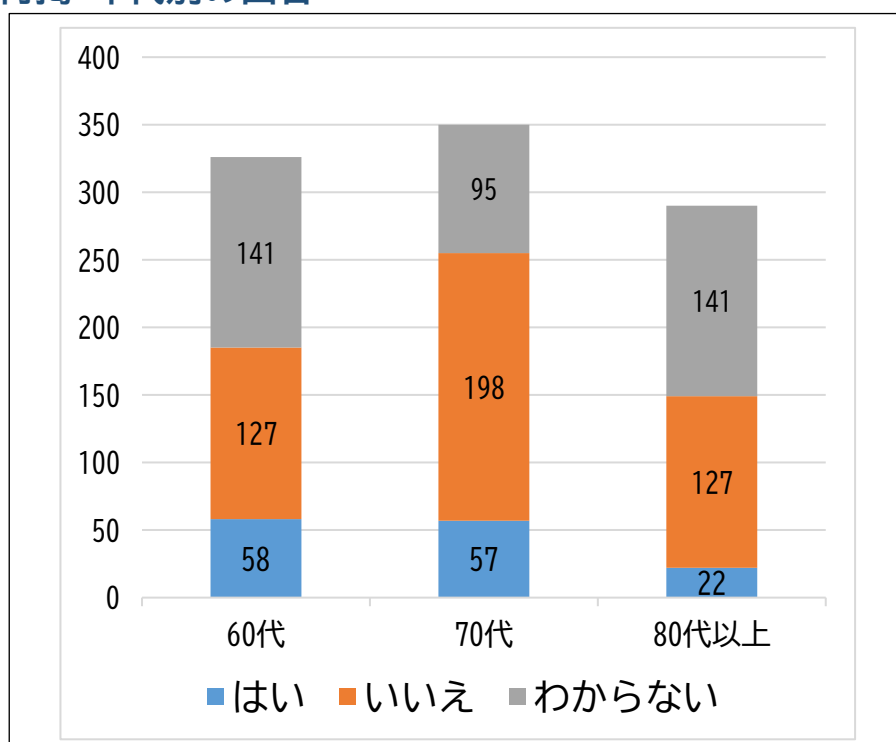
移動支援の希望として、「運転できるメンバーの送迎」が27人（39%）で最も多く、「タクシー等の乗り合わせの手配」が18人（26%）、「その他」が15人（22%）となりました。また、自由意見では「バスルートの改善」「公共交通の活用」などの意見も見られました。

◆ サークル等の団体に参加していない方への質問

問16 サークル等の団体活動に参加してみたいと思うか

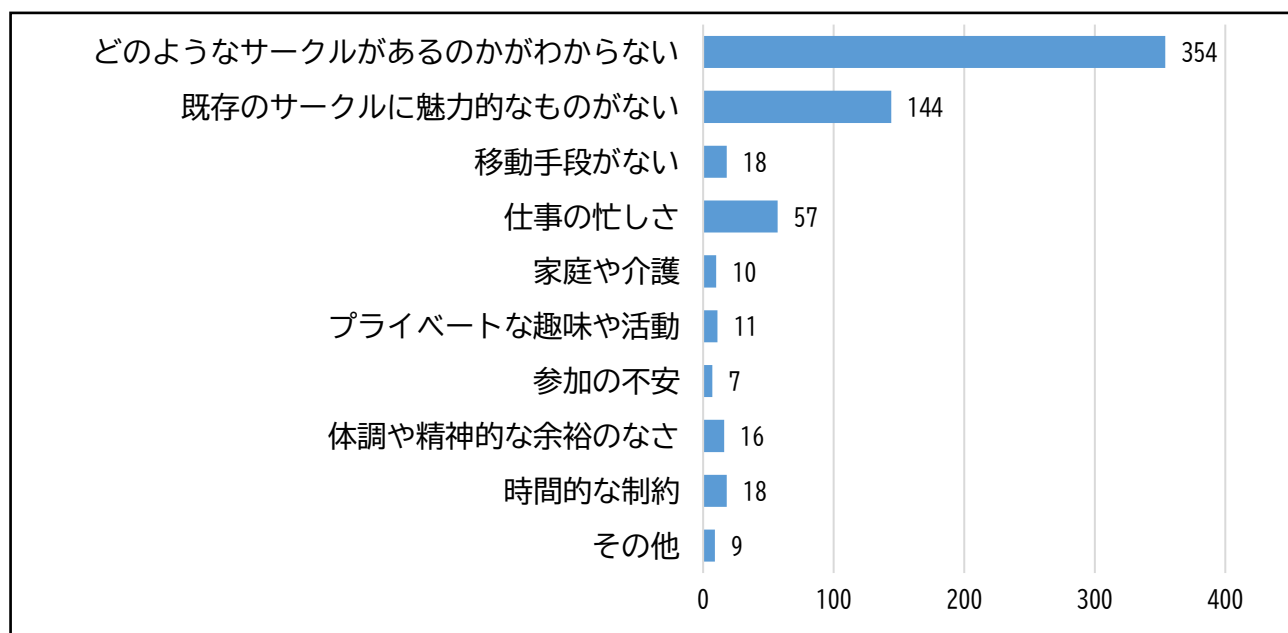


上記の再掲:年代別の回答



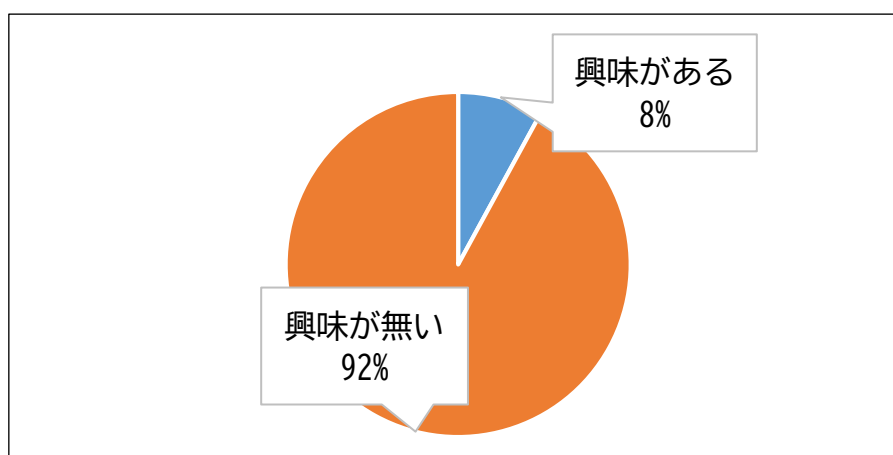
サークル活動への参加意向は、「はい」14%、「いいえ」47%、「わからない」39%となりました。約半数が参加に消極的で、4割が判断を保留しています。年代別では60代が比較的参加意欲が高い一方で、80代以上では「わからない」が多い傾向が見られます。迷っている層への具体的な支援や情報提供が、新たな参加の促進につながる可能性があります。

問17 現在サークル等の団体活動に参加していない理由や障壁は何か



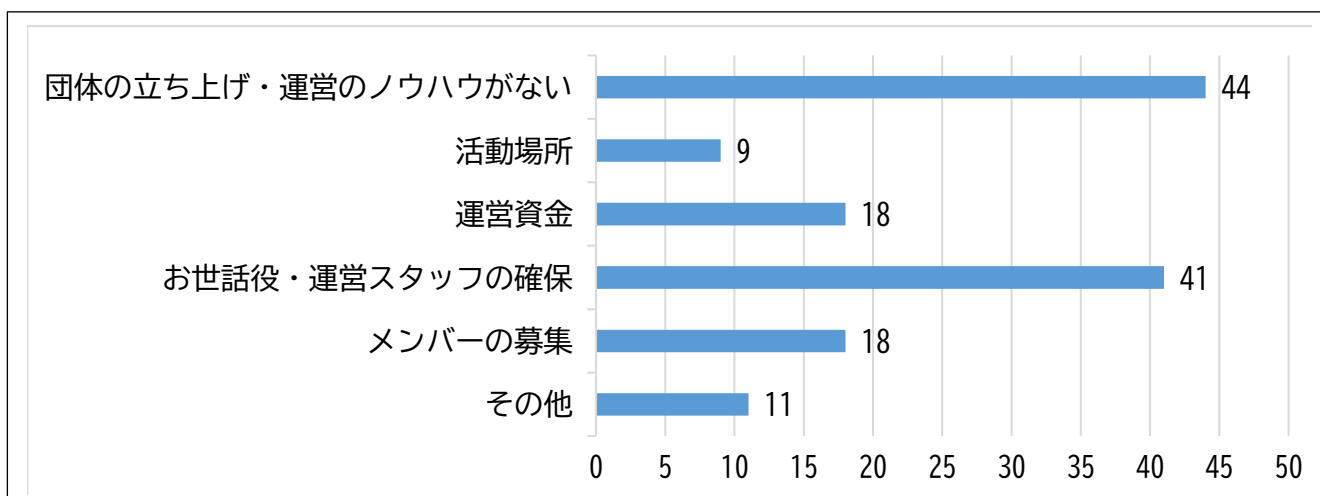
サークルに参加しない理由として、「どのようなサークルがあるのかわからない」が最も多く、354人（52%）が回答しました。次いで「既存のサークルに魅力を感じない」が144人（21%）、「移動手段がない」が18人（3%）でした。自由意見では「仕事や家庭の都合」「体調の不安」なども挙げられ、情報提供の充実や多様な活動の展開が、参加促進の鍵となると考えられます。

問18 自らが主催者となって、新たなサークル等の団体を立ち上げることに興味はありますか。



新たな団体の立ち上げに「興味がある」は8%にとどまり、92%が「興味がない」と回答。主催や運営の負担が大きな要因で、「考えたことがない」との意見が多く見られました。一方、設営やボランティアなど部分的な協力には前向きな声もありました。

問19 自らが主催者となって新たな団体を立ち上げる際に課題となると思われることは何ですか。



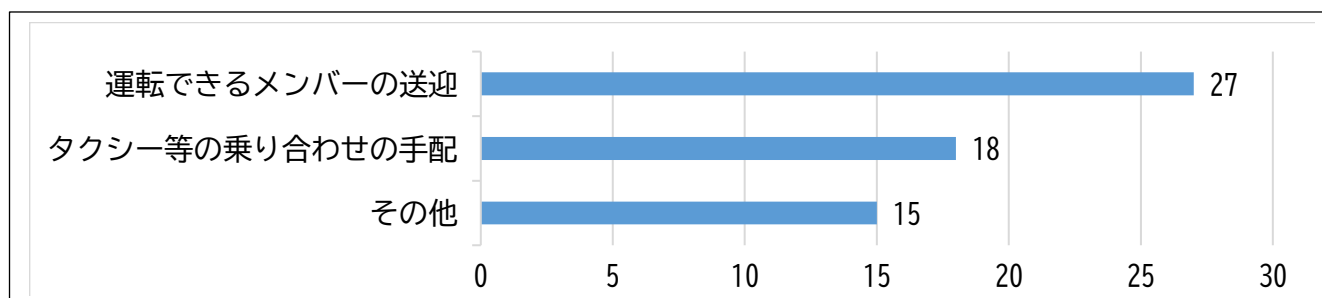
その他意見まとめ

1. 主催や運営への意欲が低く、負担感を感じる意見が多い。
 - ・「考えたことがない」「主催者となる気はない」など。
 - ・ただし、設営やボランティアなど部分的な協力には前向き。
2. 人間関係の難しさや年齢（健康状態）への不安が障壁となる。
 - ・「人間関係が難しい」「年齢（身体の心配）」など。

新たな団体を立ち上げる際の課題として、「運営ノウハウがない」が44人（30%）と最も多く、次いで「お世話役・運営スタッフの確保」41人（28%）、「メンバーの募集」18人（12%）が挙げられました。また、自由意見では「運営の負担が大きい」「人間関係が不安」などの声もあり、支援策の充実が求められています。

◆ 参加しない理由のうち「移動手段がない」を選択した方への質問

問20 どのような移動手段の支援があれば良いか。



どのような移動手段があれば良いかについては、「運転できるメンバーの送迎」が27人（54%）で最も多く、次いで「タクシー等の乗り合わせの手配」が18人（36%）、「その他」が15人（30%）となりました。

問21 移動手段の支援についての具体的な希望や提案(まとめ)

1. 送迎サービスの必要性

・運転免許返納後の移動手段の確保が課題

「今は車で移動できるが、将来的に免許返納すると活動が難しくなる。」

「サークルの送迎担当が辞めると、会員が一気に減少する。補助がほしい。」

「送迎サービスがあれば参加しやすい。」

・送迎の負担

「送迎を予定していた人が急に参加できなくなると調整が手間。」

「送迎の事故リスクが気になる。」

2. 近場での活動希望

「徒歩圏内で参加できるサークルがあるとよい。」

「地域の公民館で活動できる場をもっと増やしてほしい。」

「潮美台や福良など、近くの公民館で開催してほしい。」

3. 公共交通の利便性向上

「コミュニティバスのルートを曜日ごとに変えて利用しやすくしてほしい。」

「マイクロバスを活用できるように補助を検討してほしい。」

「福良方面への移動手段が不便。高速バスを利用しやすくしてほしい。」

送迎サービスの必要性が最も多く挙げられました。特に、運転免許返納後の移動手段の確保が課題とされ、「送迎サービスがあれば参加しやすい」との声が寄せられました。また、「徒歩圏内での活動希望」や「公共交通の利便性向上」に関する意見も見られました。

◆ サークル等の団体活動についてその他意見等

1. サークルの情報発信と新規参加の課題

・どんなサークルがあるのか分からない

「どのようなサークルがあるのか、活動回数、費用等の情報がほしい。」

「サークル活動の見える化が必要。追加募集中や内容を表示してほしい。」

「サークルに参加したいが、申し込むと定員オーバーのことが多い。」

・新規参加のしにくさ

「サークルに見学に行ったとき、大先輩の中でコミュニケーションが取りづらく感じた。」

「メンバー同士の結びつきが強すぎると、新しい人が入りづらい。」

「サークルの公開視察や、気軽に試し参加できる機会があるとよい。」

2. 参加者の減少と高齢化

・会員の減少と高齢化

「会員の高齢化が進み、新会員が入ってこない。」

「高齢化の影響で、イベントを企画しても中止になることが多い。」

「サークルによって昔と違って人が集まりにくい。」

・後継者・世話役の不足

「世話役をしてくれる人がいない。」

「今はまだ自分で運営できているが、将来的に続けられるか不安。」

3. サークルの種類・活動内容

・要望のある活動

「認知症予防の観点から、音楽などの活動がもっとあればよい。」

「よさこい踊りをやってほしい。」

「手芸や着物リメイクを教えてくれるサークルに参加したい。」

「ボッチャのように、身体の不自由な方や小さい子も一緒に楽しめる場があると良い。」

・既存のサークルへの意見

「会費が手頃で、気軽に参加できるサークルがありがたい。」

「コロナの影響で、公民館の体操教室の回数が減ったので増やしてほしい。」

「シニアにとって参加しやすいのは公民館。もっと活用してほしい。」

4. 仕事や家庭との両立の難しさ

・仕事や家庭の事情で参加が難しい

「今も仕事をしているので、退職後に考えたい。」

「介護や家事で、サークルに参加できない。」

「仕事が忙しくて、サークル活動をする余裕がない。」

「夜のサークルが多く、日中のサークルが増えるとありがたい。」

サークル活動に関する意見として、「どのような団体があるのかわからない」「参加手続きがわかりにくい」など情報提供の充実を求める声が多くありました。また、新規参加に対する不安や、活動場所・移動手段の確保に関する課題も指摘されています。加えて、仕事や家庭との両立が難しいという声もあり、多様な生活スタイルに対応した支援策が求められています

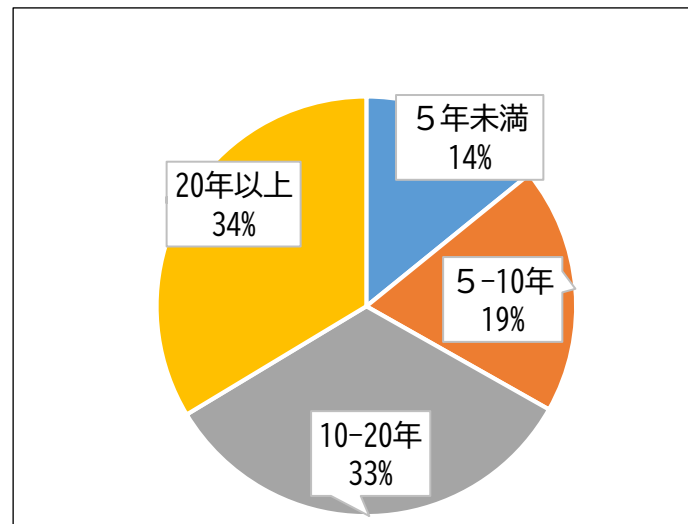
市内団体主催者向け サークル活動等に関するアンケート集計結果

集計結果は未回答を含むため、設問ごとに総回答数が異なります。その点をご留意の上、ご覧ください。

◆ 団体について教えてください

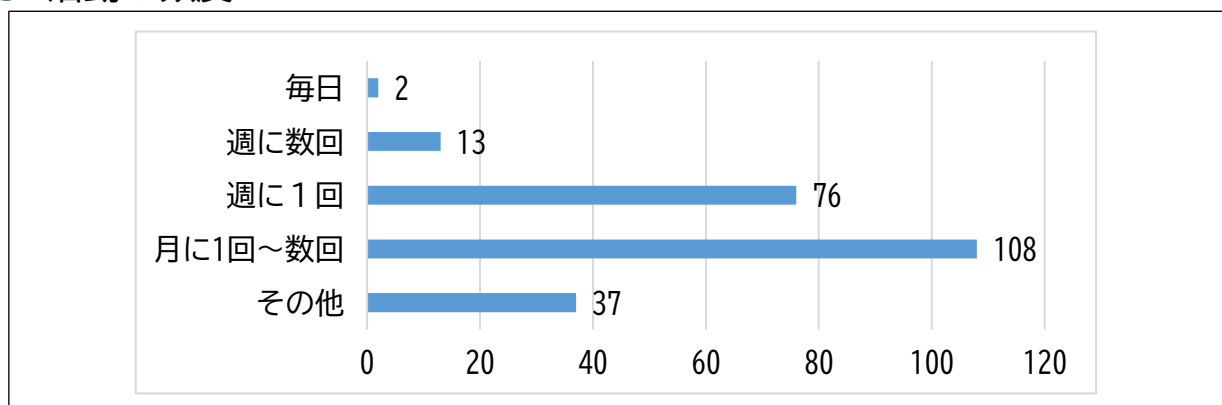
問1 主催団体についての情報 略

問2 主催団体の活動年数



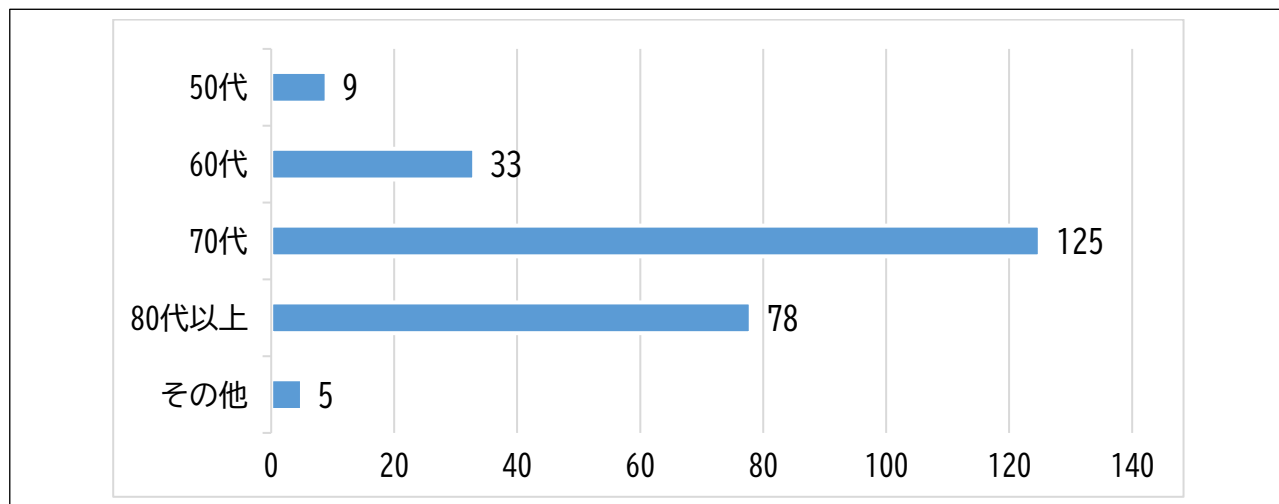
活動年数は10年以上の団体が全体の67%を占め、長く継続している団体が多いことが分かります。一方で、5年未満の団体は14%にとどまり、新規団体の立ち上げは少ない状況です。新たな団体設立を支援し、既存団体の安定運営を図ることが課題となります。

問3 活動の頻度



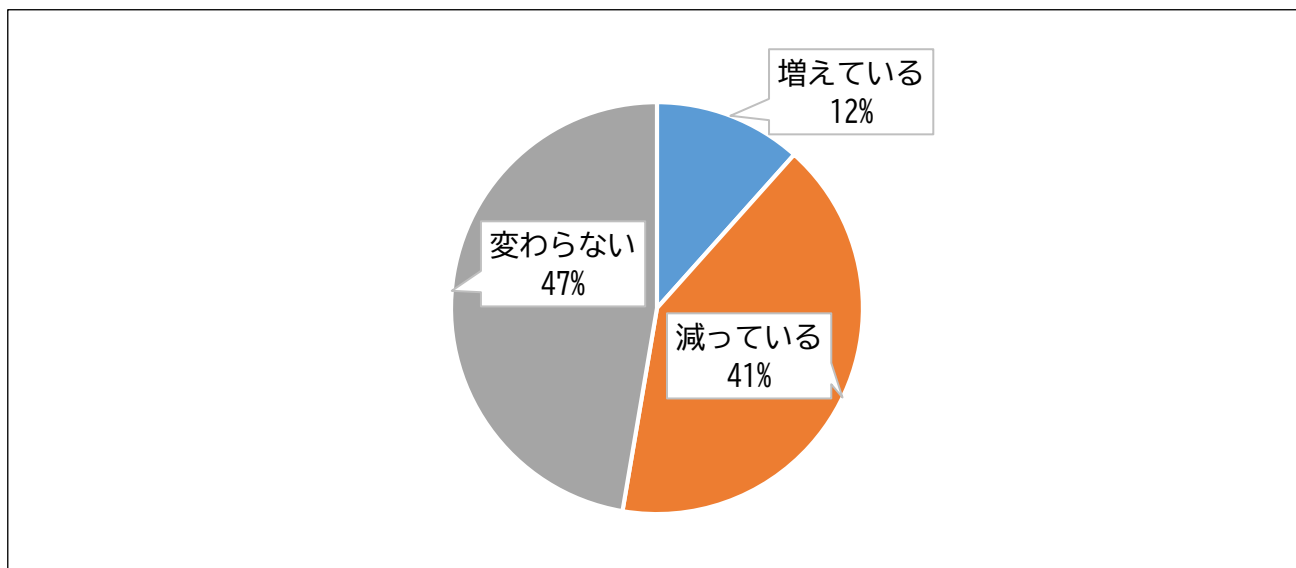
活動の頻度は「月に1回～数回」が108団体（47%）で最も多く、「週に1回」が76団体（33%）、「週に数回」が37団体（16%）と続いています。一方で、「毎日活動している」団体は13団体（6%）にとどまっています。

問4 所属会員の平均年齢層



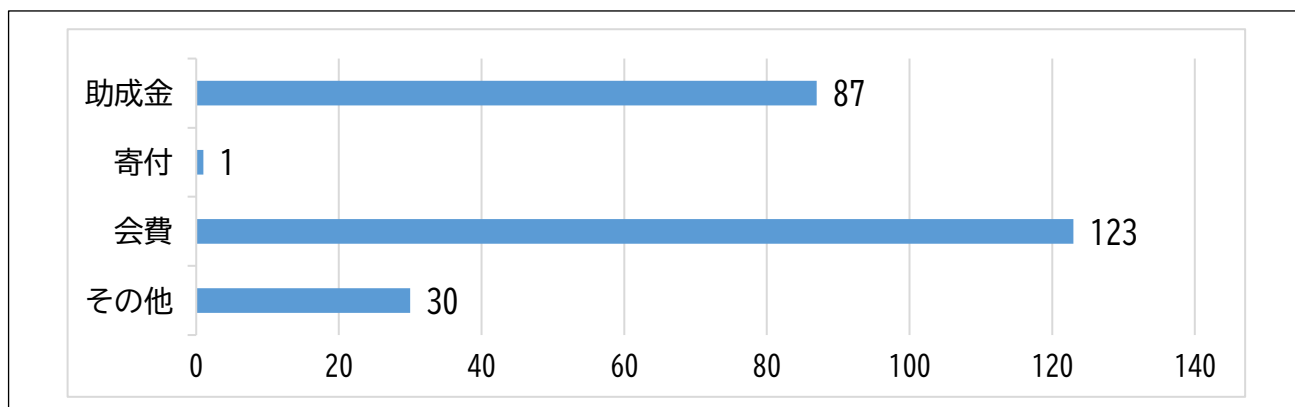
団体に所属する会員の平均年齢は、70代が125団体（55%）、80代以上が78団体（34%）、60代が33団体（14%）、50代が9団体（4%）、その他が5団体（2%）となっています。高齢化が進む中、若年層の参加促進や世代交代を見据えた運営体制の整備が求められます。

問5 団体の会員数の増減について



会員数は「変わらない」が47%で最も多く、「減っている」が41%となっており、会員減少が進んでいます。一方で、「増えている」は12%にとどまり、新規会員の獲得が課題となっています。今後は、参加しやすい環境づくりや活動内容の魅力向上を図り、持続可能な団体運営を進めていくことが求められます。

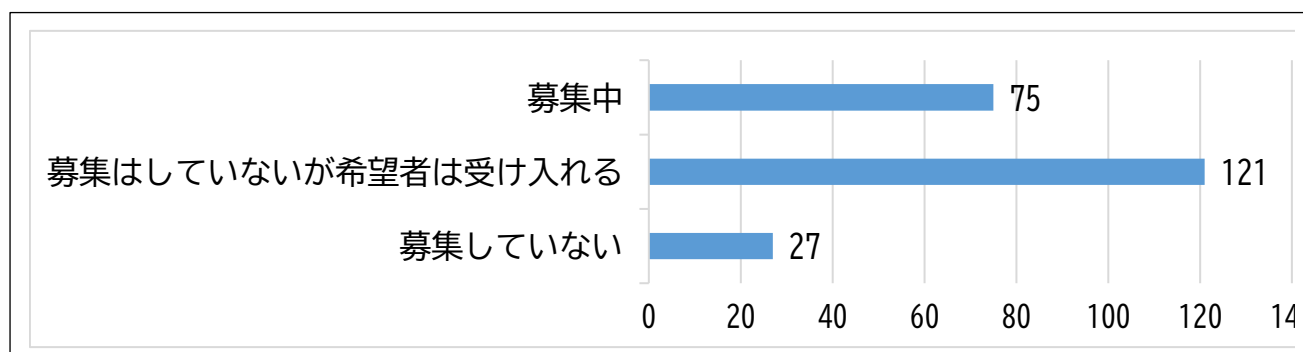
問6 団体の主な運営資金



運営資金は「会費」が123団体（54%）で最も多く、「助成金」が87団体（38%）、「寄付」が1団体（0.4%）となっています。会費収入に依存する団体が多い一方で、助成金や寄付の活用も一定の割合を占めています。今後は、安定した資金確保のために、助成制度の周知などが求められます。

問7 市内サークル等団体をまとめたリストへの団体情報掲載の可否 略

問8 団体の新規会員募集状況



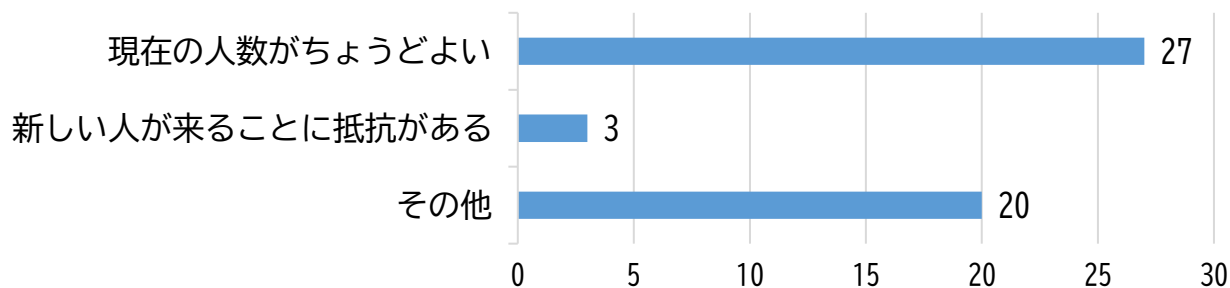
新規会員を「募集中」の団体は27団体（27%）、「募集はしていないが希望者は受け入れる」は121団体（54%）となっています。一方で、「募集していない」団体も75団体（17%）あり、受け入れ体制に課題が見られます。

◆ 問8で「募集中」または「募集はしていないが参加希望者があれば受け入れる」と答えた方への質問

問9 新規で団体会員となる条件 略

◆ 問8で「募集していない」と答えた方への質問

問10 新規会員を募集していない理由



その他意見（まとめ）

1. 運営体制・人員に関する問題

- ・運営の手が足りない
「1人で運営しているので手が回らない。」
- ・運営者や指導者の高齢化
「指導者が高齢になってきている。」
「現会員が体調を崩し、活動が難しくなっている。」

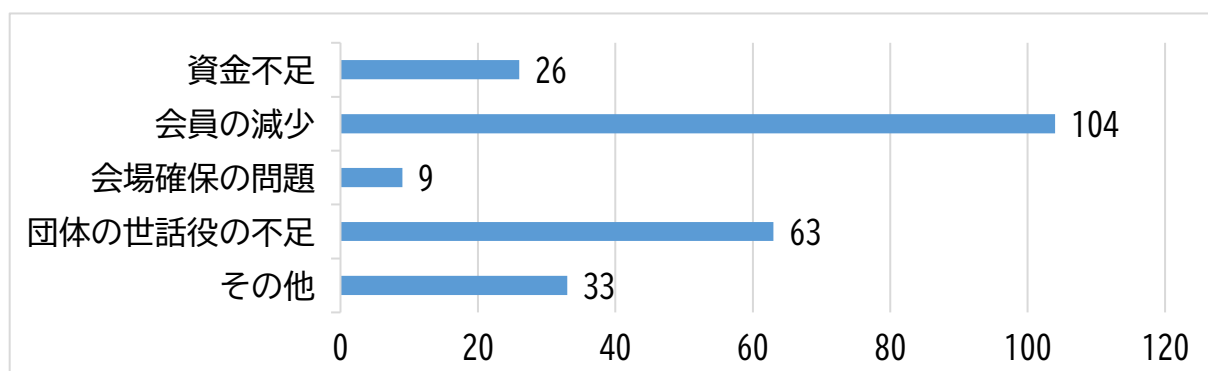
2. 活動の継続・制約に関する課題

- ・活動が続けることが難しい
「実施してみたが、家の仕事との両立が難しかった。」
「自治会活動や老人会活動は制度として続いているが、新しい活動が続けるのは大変。」
「参加者がいない。」
「場所が狭く、新たに受け入れる余裕がない。」
- ・特定の地域や条件に限定
「地域住民のみの参加に限定している。」
「特定の地区限定、かつ女性のみで募集しているため。」

新規会員を「募集していない」理由として、最も多かったのは「現在の人数がちょうどよい」が27団体（73%）でした。「新しい人が来ることに抵抗がある」は3団体（8%）と少数ですが、受け入れの難しさも一因となっています。また、その他の意見では「運営の手が足りない」「指導者が高齢」など、運営側の課題が多く挙げられました。今後は、運営支援の充実や、新規会員との円滑な交流の場づくりが求められます。

◆ 運営上の課題について教えてください。

問11 団体運営における現在の課題(複数回答)



その他意見（まとめ）

1. 会員の高齢化や減少

・ 高齢化の進行

「高齢」「80 才以上になり、やめている為、減少。」

・ 新規会員の不足

「新規会員が増えない。参加者の高齢化が進んでいる。」

2. 指導者や役割に関する課題

・ 指導者の高齢化

「指導者が高齢になり、活動の継続が難しくなっている。」

・ 世話役やサポート体制の不足

「世話役のサポートが必要。」

3. 会員の属性や行動に関する問題

・ 参加者のバランス不足

「男性の参加が少ないこと。」

「40～50 代の若い方の入会を希望。」

・ 会員間の関係性

「会員の中に仲良くできない方がいる。」

4. 課題がないと感じる団体

「別になし。」

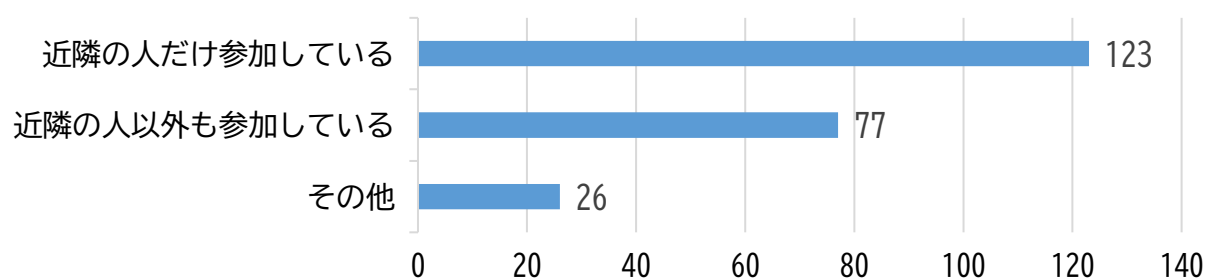
団体運営の課題として「会員の減少」が 104 団体（45%）で最も多く、「世話役の不足」63 団体（27%）、「資金不足」26 団体（11%）が続いています。また、その他の意見では「指導者の高齢化」「男性会員の少なさ」などが挙げられました。今後は、新規会員の確保や世話役の負担軽減に向けた支援策の充実が求められます。

問12 団体の運営や活動内容に関して、具体的な改善案や取り組んでいる事例

「持になし」といった回答が複数見られ、現状の団体運営に特に改善の必要を感じていない団体も多い

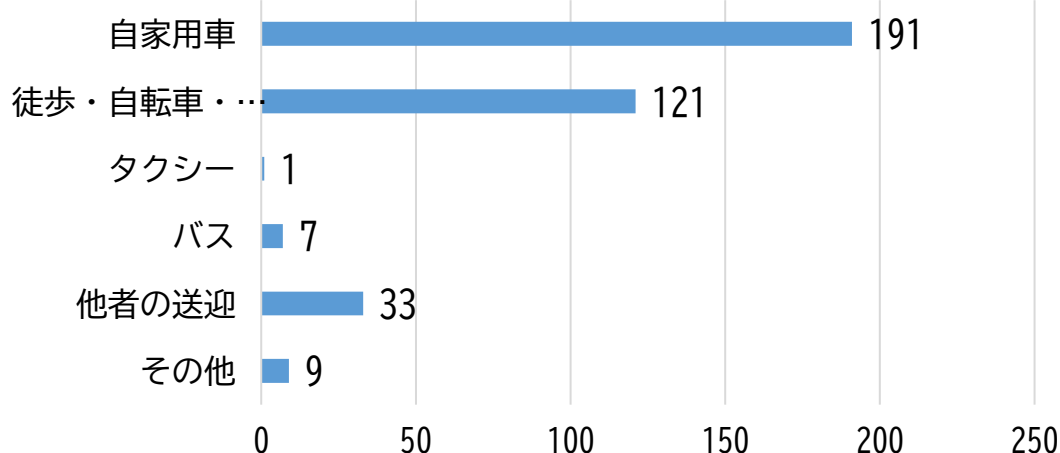
◆ 会員の移動手段などについて

問13 会員の参加者層



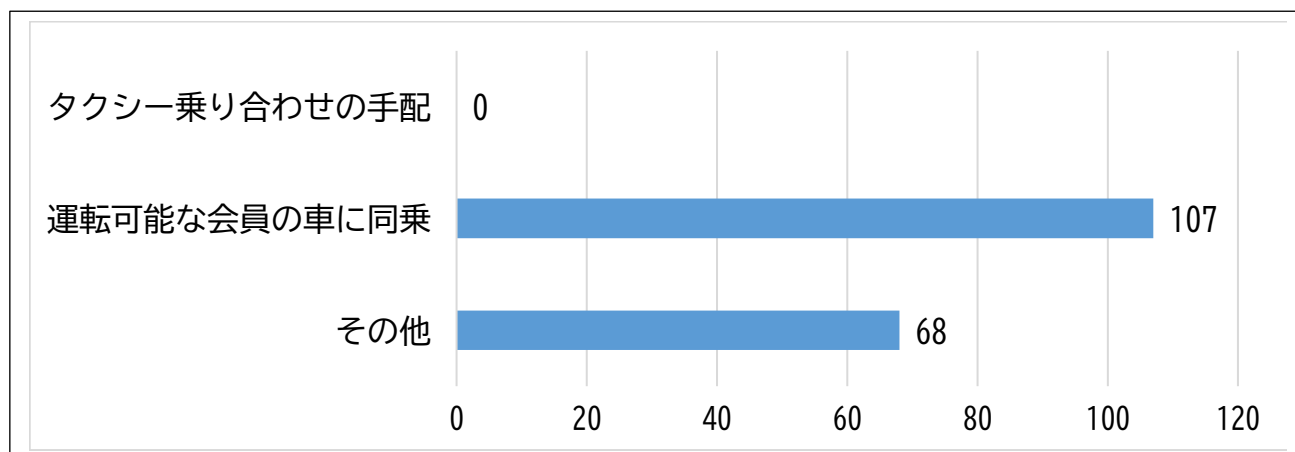
会員の参加者層について、「近隣の人以外も参加している」が123団体（54%）、「近隣の人だけが参加している」が77団体（34%）となっています。その他の意見では「特定の地域や条件に限定」「地域のコミュニティに根ざした活動が中心」といった声も見られました。

問14 会員の団体の活動に参加する際の移動手段(複数回答)



会員の移動手段として「自家用車（自分で運転）」が最も多く、191団体（83%）が利用しています。一方で、「徒歩・自転車・バイク」は121団体（54%）、その他の移動手段は少数派です。

問15 団体として、自家用車を自分で運転しない会員の移動手段の確保に関しての取り組み

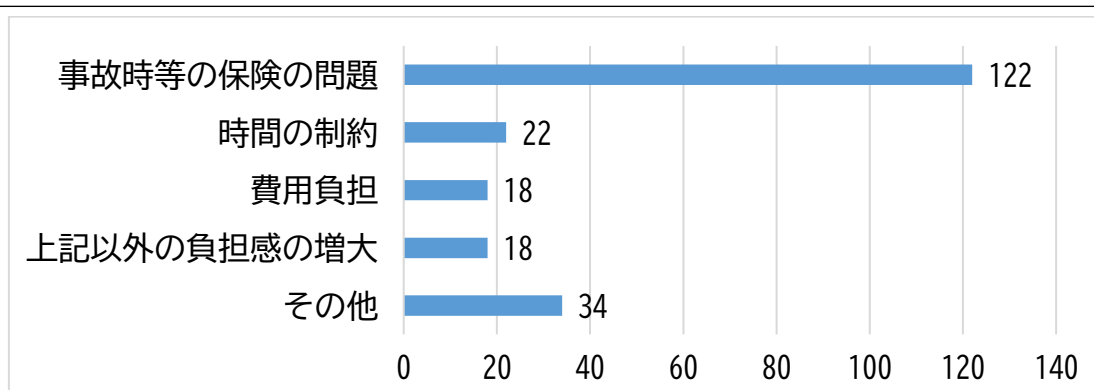


その他意見（まとめ）

「今はみんな運転できる」「家族の送迎」などが多数

移動手段の確保については、運転可能な会員の車に同乗が最も多く、107 団体（47%）が取り組んでいます。

問16 運転できる会員が他の会員の送迎を行う上での課題や懸念点(複数回答)



1. 運転・送迎に関する心理的・安全面の不安

① 運転者の高齢化

「運転者自体が高齢なのに、他人を乗せることで大きな心の負担になる。」

「事故の際、保険の問題だけではなく、運転者の責任や過失が問われ、本人も傷つく。」

② 家族の反対や遠慮

「高齢者が送ることを家族が嫌がる。」

「遠慮して気軽に頼みにくいのでは。」

③ 事故や保険の問題

「事故等の心配。」

「送迎をすると気を使う。」

2. 現状維持や送迎の必要性の低さ

「特になし。」といった回答が多い。

3. 物理的な制約や実行上の課題

① 送迎の物理的制約

「1台の車では乗れない時がある。」

「台数不足で全員を送迎できない。」

送迎の課題として、「事故時等の保険の問題」が122団体（53%）で最も多く挙げられています。次いで「時間の制約」22団体（10%）、「費用負担」18団体（8%）、「上記以外の負担感の増大」18団体（8%）が続いています。また、その他の意見では「運転者の高齢化」「家族の反対」「送迎の物理的制約」などが指摘されており、送迎を行うためには負担の軽減や安全対策の強化が求められます。

問17 会員の移動に関して意見や提案

意見（まとめ）

1. 活動場所や移動手段に関する意見

・活動場所や交通手段への具体的な希望

「南あわじ市交流会のときなどは、バス配車があれば出席しやすい。」

「老人施設等の訪問活動では施設の車を出して欲しい。」

「遠方の方の送迎が充実すれば、もっと会員数を増やせると思う。月 1 回なので市で無償の送迎バス等を出して欲しい。」

「市主催の行事等はコミュニティバスの利用で行きやすい場所で実施して欲しい。」

「料金が安価で簡単に利用できるタクシーに似た交通機関があれば便利。」

・公共交通や代替手段の活用

「なるべく公共交通を使うか、バスをチャーターする。」

「美術展に行く場合、各自が車で行っている。」

2. 安全性や配慮に関する意見

・送迎に伴う心理的負担

「送迎される側が気を使い、活動をやめていくのではないか。」

「送迎できる人が仕事を持っている場合、都合がつかなくなる可能性がある。」

「特に問題はないが、もし事故を起こしたらと毎回気をつけている。」

3. 移動手段や送迎に関する提案

・移動手段の提案

「費用が少額で全員が移動できる仕組みが欲しい。」

「年齢を重ねて移動が困難になり、サークル活動が減少している。送迎を考えて欲しい。」

「会員どうしで連絡を取り合い、移動を助け合っている。」

「現在は会員の善意に甘えて車に乗り合わせて移動している。」

・現状の問題点に対する懸念

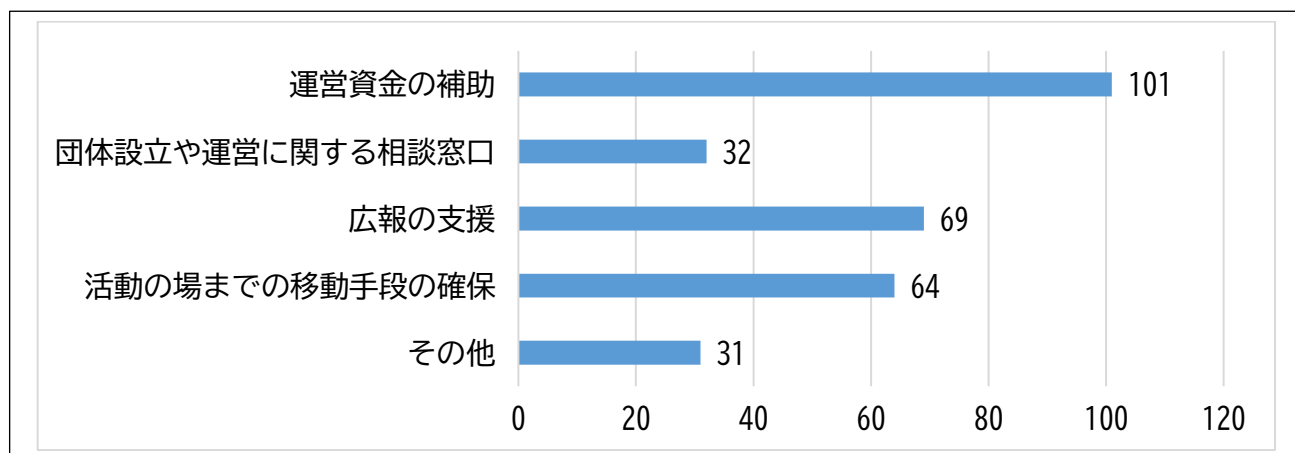
「訪問時の移動中の事故が心配。」

「利用者に近い場所を確保してほしい。（徒歩や移動車で行ける範囲を想定）」

会員の移動に関する意見では、「活動場所や交通手段の整備を求める声」が多く、具体的には「バス配車があれば出席しやすい」「施設の車を活用した送迎の充実を希望」といった意見がありました。また、「送迎の心理的負担」や「運転者の都合がつかないことへの懸念」も指摘されています。今後は、公共交通の活用や柔軟な送迎支援策の検討が求められます。

◆ 市全体のサークル活動の場・集いの場の活性化について

問18 今後市内に貴団体のようなサークル活動の場・集いの場が増え、活発な活動を継続していくために必要と思われるもの(複数回答)



その他意見（まとめ）

- ・活動の場所選び（無料の場所、徒歩が可能な場所、暑さ寒さ対策）
- ・世話人や参加者の不足対策

サークル活動の活性化に必要なものとして、「運営資金の補助」が101団体（44%）で最も多く、「広報の支援」69団体（30%）、「活動の場までの移動手段の確保」64団体（28%）、「団体設立や運営に関する相談窓口」32団体（14%）が続いています。その他の意見では「無料または徒歩圏内の活動場所」「世話人や参加者の不足対策」などが挙げられました。今後は、運営支援や広報活動の充実が求められます

問19 貴団体立ち上げに至った経緯、利用した制度、相談した機関について
(その他、新規団体立ち上げを検討している方の参考となるようなアドバイス)

1. 団体の立ち上げや活動の背景

・立ち上げの目的や背景

「地域の高齢者の方や住民の方々が、気軽に集えるサロン。」

「中学校の同級生の仲良し達と立ち上げたが、現在は全く関係のない 80 才代の人達も増え 15 人前後です。」

「健康教室に参加してくださった方々が、『月 1 回、1 時間、ゆっくり体操やストレッチをしてほしい』との希望で立ち上げました。」

「阪神淡路大震災の際、被災した人々への支援を目的に立ち上げた。」

・外部機関や支援制度の活用

「市の『集いの場補助金』(年間 1 万円)。」

「市社会福祉協議会の指導と援助。」

「地域包括支援室の職員の方の助力(助成金など)。」

「社協のボランティアセンターのコーディネート。」

・活動の背景や歴史

「私は今年入ったのですが、歴史があり、皆すごく協力的で、前向きな方ばかりで楽しいです。」

「南淡路病院の協力により体験型健康教室を立ち上げ現在に至っている。」

「公民館が立ち上げた講座がスタートのきっかけ。」

2. 活動開始のきっかけや目的

「地域の交流を目的とした活動。」

「震災や災害支援のための活動。」

「健康増進や体操教室の希望から立ち上げ。」

3. 特に問題なし・現状維持

・既存活動の延長として運営

「既にあった『中田サロン』の延長線上でスタートした。」

「三原町時代から続く行事をこなし、踊りの稽古や体を動かす活動を楽しんでいる。」

「特になし。」

団体の立ち上げの経緯として、「地域の交流促進」「健康維持」「震災支援」など多様な目的が挙げられました。また、活用した制度として「市の補助金」「社会福祉協議会の支援」「地域包括支援センターの助言」などがありました。

◆ その他、団体の活性化等についてご意見や提案

1. 団体の運営や背景に関する意見

・ 会員の減少やリーダー後継の課題

「会員を増やそうと声かけしているが、体調が悪くなる会員がありむづかしい。」

「課題としてリーダーの後継者、会員の減少等があります。」

「若い人が入り、リーダー役となってみんなを引っばって行ってほしい。」

・ 高齢化への対応や施設改善の要望

「高齢者が多い為、遠くへは行けない。会場に空調設備が欲しい。」

「緑文化協会に入っているが、会員が少なくなっているので運営が厳しい。」

・ 交流や活動の意義

「楽しく話をしながら何かを作ることの大切さを知ること。」

「農業等についている人が多く、気やすく参加出来る雰囲気づくりにつとめている。」

「色々なイベントが中止となり、ボランティアもできなくなりました。もっとみんなが集える機会があればいい。」

2. サポートや連携に関する意見

・ 自治体や地域組織への期待

「社協、地域包括支援室、市民協働課、JA、各地域の市民交流センターの支援をお願いしたい。」

「立ち上げの方法の一覧があると判りやすい。」

・ 広がりをつながり重視

「百歳体操の集いから、卓球バレーや地域活動への参加を通じて、若い人達との交流が団体の活性化につながっています。」

「島外への試合にマイクロバスをチャーターしているが、サポートがあると助かる。」

団体の活性化に向けた意見として、「会員の減少」や「リーダーの後継者不足」が課題として挙げられました。また、「高齢化に伴い遠方への移動が困難」「会場の空調設備の改善が必要」といった施設面の要望もありました。さらに、「新しい人が入りにくい雰囲気」を改善し、参加しやすい環境づくりが必要」との声もあり、今後の支援策が求められます。

60歳以上の市民の方へ サークル活動等に関するアンケートのお願い

日頃より市行政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、南あわじ市では、市民の生きがいづくりや健康寿命の延伸を目的として、市民主体で運営される集いの場やサークル活動（以下、「サークル活動等」といいます。）の活性化を進めております。

近年、特にシニア層を中心に、参加できる社交や集いの場がもっと欲しいとの声が多く寄せられており、これを受けて、60歳以上の方を対象にサークル活動等に関する調査を実施することといたしました。

調査結果は、広く市民に公開すると同時に、既存のサークル活動等のさらなる活性化と、新たなサークル活動等の設立支援を図りたいと考えております

お手数をおかけいたしますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月17日

南あわじ市長 守本 憲弘

○このアンケートの対象者は、令和6年9月1日現在、60歳以上の市民2,000人を抽出して実施しています。

○ご回答いただいた内容で個人が特定されることはありません。

アンケート記入後は、同封の返信用封筒に入れて
9月30日（月）までに投函してください。

スマートフォンからも
回答できます。



以下より、質問へご回答願います。

◆ あなたのことについてお答えください。

問1 年齢をお答えください（選んだものをチェック☑願います。以下同じ。）

☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上

問2 お住いの地区を教えてください

☐ 広田	☐ 倭文	☐ 松帆	☐ 湊	☐ 津井
☐ 丸山	☐ 阿那賀	☐ 伊加利	☐ 西淡志知	☐ 榎列・倭文
☐ 八木	☐ 市	☐ 神代	☐ 三原志知	☐ 福良
☐ 賀集	☐ 北阿万	☐ 潮美台	☐ 阿万	☐ 灘
☐ 沼島				

問3 性別を教えてください

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他

問4 現在、何らかの集いの場やサークル等の団体※に参加していますか？

※ いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロン、公民館サークル、ボランティアグループなどの自主的な活動を指します。

- ☐ はい ⇒ 問5にお進みください
- ☐ いいえ ⇒ 問16にお進みください

◆ サークル等の団体に参加している方への質問

問5 参加している団体について、お答えできる範囲でご記入ください。

団体名			
活動内容			
代表者のお名前		ご連絡先	

問6 市では現在、シニアが参加できるサークル等の団体をまとめたリストの作成を進めています。あなたの参加している団体をリストに掲載してよろしいか。

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない・答えられない

問7 活動の頻度はどれくらいですか？ 当てはまるものを1つ選んでください。

☐ 毎日
 ☐ 週に数回
 ☐ 週に1回
 ☐ 月に数回
☐ その他 ()

問8 参加している団体の運営について、課題に感じていることは何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。

☐ 資金不足 ☐ 会員の減少 ☐ 会場の確保 ☐ 団体の世話役の不足
☐ その他（ ）

問9 参加している団体の主な連絡手段についてお聞かせください。
主なものを1つ選んでください。

☐ 固定電話 ☐ 携帯電話 ☐ メール ☐ LINE ☐ 直接会って話す
☐ その他（ ）

問10 LINEなどの通信アプリを活用した連絡や情報共有は可能ですか？
当てはまるものを1つ選んでください。

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

問11 現在の主な参加のための移動手段は何ですか？当てはまるものを1つ選んでください。

☐ 自家用車（自分で運転） ⇒ **問12にお進みください**

☐ 徒歩・自転車・バイク ☐ タクシー ☐ バス

☐ 他者の送迎 ☐ その他（ ） ⇒ **問14にお進みください**

◆ 主な移動手段が「自家用車（自分で運転）」の方への質問

問12 自家用車を運転して他のメンバーの送迎を手伝うことに興味がありますか？

☐ はい ☐ いいえ

問13 他のメンバーを自家用車で送迎することの懸念点は何ですか？
最も当てはまるものを1つ選んでください。

☐ 事故時等の保険の問題 ☐ 時間の制約 ☐ 費用負担

☐ 体力的な問題 ☐ その他（ ）

※ 無償で送迎する場合は問題ありませんが、有償で送迎する場合は道路運送法に基づく許可が必要となる場合があります。詳しくは別紙をご確認ください。

⇒ **問22にお進みください**

◆ 主な移動手段が「自家用車（自分で運転）」以外の方への質問

問14 団体の活動に参加する際、移動手段が問題となることはありますか？

☐ はい ☐ いいえ

問15 どのような移動手段の支援があれば良いと思いますか？
別紙もご参考に、最も当てはまるものを1つ選んでください。

☐ 運転できる団体メンバーの車に同乗 ☐ タクシー等の乗り合わせの手配

☐ その他（ ）

⇒ **問22にお進みください**

◆ サークル等の団体に参加していない方への質問

問16 サークル等の団体活動に参加してみたいと思いますか？

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

問17 現在サークル等の団体活動に参加していない理由や障壁は何ですか？
最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ どのようなサークル等団体があるのかがわからない
- ☐ 既存のサークルに魅力的なものがない
- ☐ 移動手段がない ⇒ **問20**にお進みください
- ☐ その他（ ）
- ⇒ **問18**にお進みください

問18 自らが主催者となって、新たなサークル等の団体を立ち上げることに興味はありますか。

- ☐ 興味がある ⇒ **問19**にお進みください
- ☐ 興味がない ⇒ **問22**にお進みください

問19 自らが主催者となって新たな団体を立ち上げる際に課題となると思われることは何ですか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 団体の立ち上げ方・運営方法に対する知識やノウハウがない
- ☐ 活動場所
- ☐ 運営資金
- ☐ お世話役・運営スタッフの確保
- ☐ メンバーの募集
- ☐ その他（ ）
- ⇒ **問22**にお進みください

◆ 参加しない理由のうち「移動手段がない」を選択した方への質問

問20 どのような移動手段の支援があれば良いと思いますか？
別紙もご参考に、最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 運転できる団体メンバーによる送迎
- ☐ タクシー等の乗り合わせの手配
- ☐ その他（ ）

問21 移動手段の支援についての具体的な希望や提案があれば教えてください。

具体的に記入：

◆ サークル等の団体活動についてその他ご意見等があれば教えてください。

問22 ご意見やご提案をご記入ください。

具体的に記入：

アンケートは以上になります。ご回答ありがとうございました。

団体主催者の皆様 サークル活動等の現状と課題に関するアンケートのお願い

皆さまには、日頃より市行政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、南あわじ市では、市民の生きがいづくりや健康寿命の延伸を目的として、市民主体で運営される集いの場やサークル活動（以下、「サークル活動等」といいます。）の活性化を進めております。

近年、特にシニア層の方々から、参加できる社交・集いの場を拡大してほしいという意見が多く寄せられており、これを受けて、市内にあるサークル活動等の現状を調査することといたしました。

調査結果は広く市民に公開すると同時に、既存のサークル活動等のさらなる活性化と、新たなサークル活動等の設立支援に活かしたいと考えております。

お手数をおかけいたしますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月18日

南あわじ市長 守本 憲弘

※本アンケートは市役所各所管課及び社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会様よりいただいた団体情報を基に送付しています。

アンケート記入後は、同封の返信用封筒に入れて
9月30日（月）までに投函してください。

スマートフォンからも
回答できます。



以下より、質問へご回答願います。

◆ 団体について教えてください

問1 あなたの団体についてご記入ください

（本アンケートが入っていた封筒に記載された宛名の団体名でお答えください）

団体名			
代表者名		電話番号	
活動内容			

問2 団体の活動年数についてお答えください。

(当てはまるものにチェック ☒ を入れてください。以下の質問も同じです)

- ☐ 5年未満 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 10年以上20年未満 ☐ 20年以上

問3 活動の頻度について、もっとも当てはまるもの1つを選んでください。

- ☐ 毎日 ☐ 週に数回 ☐ 週に１回 ☐ 月に１回～数回
☐ その他（ ）

問4 会員の平均年齢層について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上 ☐ その他（ ）

問5 会員数（直近2年ほどの増減）について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 増えている ☐ 減っている ☐ 変わらない

問6 団体の主な運営資金について、もっとも当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 会費 ☐ 寄付 ☐ 助成金 ☐ その他（ ）

◆ 市では現在、シニアが参加できるサークルなど団体をまとめたリストの作成を進めています。以下の質問にお答えください。

問7 市内サークル等団体をまとめたリストに貴団体を掲載してよろしいか。

- ☐ はい ☐ いいえ

問8 現在の新規会員募集状況について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 募集中
☐ 募集はしていないが参加希望者があれば受け入れる
☐ 募集していない ⇒ 問10にお進みください
- ⇒ 問9にお進みください

◆ 問8で「募集中」または「募集はしていないが参加希望者があれば受け入れる」と答えた方にお尋ねします

問9 新規で会員となるのに、条件などがあれば教えてください

具体的にご記入ください：

◆ 問8で「募集していない」と答えた方にお尋ねします

問10 新規会員を募集していない理由について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ☐ 現在の人数がちょうど良い ☐ 新しい人が参加することに抵抗がある
- ☐ その他（ ）

◆ 運営上の課題について教えてください。

問11 団体運営における現在の課題について、当てはまるものを全て選んでください。

- ☐ 資金不足 ☐ 会員の減少 ☐ 会場確保の問題
☐ 団体の世話役の不足 ☐ その他（ ）

問12 団体の運営や活動内容に関して、具体的な改善案や取り組んでいる事例があればお答えください。

具体的にご記入ください：

◆ 会員の移動手段などについて教えてください

問13 会員の参加者層について、最も当てはまるものを1つ選んでください

- ☐ 会場の近隣の人たちだけが参加している
☐ 会場の近隣の人以外も多く参加している
☐ その他（ ）

問14 現在、会員は団体の活動に参加する際には、どのような移動手段を利用していますか。当てはまるものを全て選んでください。

- ☐ 自家用車（自分で運転） ☐ 徒歩・自転車・バイク ☐ タクシー
☐ バス ☐ 他者の送迎 ☐ その他（ ）

問15 団体として、自家用車を自分で運転しない会員の移動手段の確保に関して取り組まれていることはありますか？当てはまるものを全て選んでください。

- ☐ 運転可能な会員の車に同乗 ☐ タクシー等の乗り合わせの手配
☐ その他（ ）

問16 運転できる会員が他の会員の送迎を行う上での課題や懸念点は何ですか？
当てはまるものを全て選んでください。

- ☐ 事故時等の保険の問題
 ☐ 時間の制約
 ☐ 費用負担
- ☐ 上記以外の負担感の増大
 ☐ その他（ ）

★無償で送迎する場合は問題ありませんが、有償で送迎する場合は道路運送法に基づく許可が必要となる場合があります。詳しくは別紙をご確認ください。

問17 会員の移動に関して意見や提案があればお答えください。

具体的にご記入ください：

◆ 市全体のサークル活動の場・集いの場の活性化について

問18 今後市内に貴団体のようなサークル活動の場・集いの場が増え、活発な活動を継続していくためには、何が必要と考えますか。
当てはまるものを全て選んでください。

- ☐ 運営資金の補助
 ☐ 団体設立や運営に関する相談窓口
- ☐ 広報の支援
 ☐ 活動の場までの移動手段の確保
- ☐ その他（ ）

問19 貴団体立ち上げに至った経緯、利用した制度、相談した機関などがあればご記入ください。（その他、新規団体立ち上げを検討している方の参考となるようなアドバイスがあればお願いします）

具体的にご記入ください：

◆ その他、団体の活性化等についてご意見や提案があれば教えてください

具体的にご記入ください：

アンケートは以上になります。ご回答ありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には使用することはありません。